

その22「2学期始業式」（8/24：月）

短い夏休みが終わりました。今年も24時間TVのフィナーレとともに、夏休みの終わりを子どもたちは名残惜（なごりお）しく思ったことでしょう。さて、2学期は、「授業参観（9/3）」、「除草作業（9/6）」、「体育大会（9/20）」、「合唱コンクール・学習発表会（10/27）」を実施する予定です。保護者の方々の参観については制限を設けることとなりますが、子どもたちの活躍の場、学習の成果の発表の場等を含めた成長の機会は可能な限り実施したいと考えます。子どもたちの安全と学習を中心に実施しますので保護者の方々の要望には応じることができないこともあります。何卒ご理解願います。



始業式での校長あいさつは短く次の二つを話しました。「2学期のたくさんの行事の中で自分を輝かせてください。」と「感染予防を一層高めてください。（写真は身体測定の際に、測定の度に消毒をする様子です。）」です。夏休み中に私が読んだ本は「校長先生の話はまったく覚えていない。」という内容でした。これまで自分が言いたいことばかりを一方的にしゃべっていたと反省しました。生徒の立場になって、内容の記憶よりも印象に残るようにしたつもりです。私の2学期のあいさつのテーマは「短く」です。

その23「平和集会」（8/9：日）

平和集会では、長崎県内の学生たちが毎年受けている平和学習と平和集会は、未来に平和を繋いでいく大切な財産だと伝えました。高校生平和大使の核兵器廃絶署名活動での合言葉「微力だけど無力じゃない」を引用して、平和を築く若者たちがこのような学習を通して増えてほしいという願いを語りました。

校内には、写真のように生徒たちが平和や戦争について調べたレポートや資料を展示しています。また、平和集会では各学級の代表者が取り組んだ内容と感想を述べました。最後に生徒会が採択した東彼杵中学校平和宣言文を読み上げ、小さな中学校だけど平和を願う強い気持ちをみんなで表しました。



その24「読解力試験（リーディングスキルテスト）」

一般的な試験問題は、その多くが文章で示されています。また解答も文章です。問題が解けない理由に、必要な知識を覚えていなかったり、解き方が分からなかったりが考えられますが、問題文章が意味する内容そのものが理解できないことも考えられます。漫画では「吹き出しのセリフ」と「登場人物の表情」や「コマの背景」から場面や状況が可視化されてすぐに認識できます。小説や論文、説明文等は絵や図がないので読み解くには、「言葉の意味」、「言い回し」、「文節それぞれの繋がり」などを自分なりに頭の中で組み立て判断しています。仕事をしている中で、理解に苦しむ難しい文章の書類、例えば契約書や同意書、役所に提出する申請書など難解なものがあったりもしますね。2017年に全国抽出約2万人の中学3年生で行った調査では、文章の主語が分からない（約15%）、異なる表現の二つの文章を比べ、内容が同じであるか異なっているかを判断できない（約50%）という結果だそうです。

本校では、このテストを実施し、個々の生徒の状況を把握し、個別指導・支援に活用します。また、校内においては「朝読書」、「NIE（教育に新聞を）」の活動を行い、文字と文章に親しませていきます。単に、試験の点数が良くなるだけを目指とするのではなく、将来的に社会の中で生きていく必要な力として指導していきます。（写真は、中央ホール2階廊下の【NIE】の様子です。）

